

記者発表資料

明日をひらく都市 美しい時代へ—東急グループ
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA



—社会課題を、超えていく。—



令和7年10月17日
横浜市都市整備局市街地整備推進課
東急株式会社
独立行政法人都市再生機構

青葉台駅周辺地区のまちづくり構想策定に着手しました ～第1回懇談会を開催～

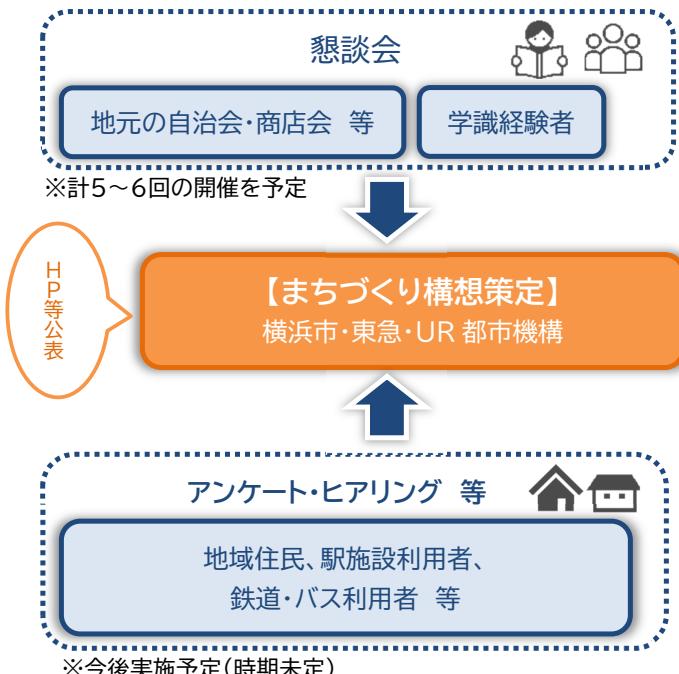
横浜市、東急株式会社(以下「東急」)、独立行政法人都市再生機構(以下「UR 都市機構」)は、令和7年1月にまちづくりの連携協定を締結し、青葉台駅周辺の新たなまちづくりについて検討を進めています。

このたび、青葉台プラザビルなどの対象地域の再整備に向け、周辺区域も含めた、地域の課題や将来像をまとめる、「(仮称)青葉台駅周辺地区まちづくり構想」の策定に着手しました。

まちづくり構想策定に向けた第一歩として、地域の皆様や学識経験者等から構成される懇談会を令和7年10月14日に開催しました。今後は、多様な視点からご意見をいただくため、懇談会と並行して駅利用者等へのヒアリング・アンケート調査なども実施する予定です。

いただいたご意見を参考に、まちのポテンシャルを最大限引き出す構想となるよう、令和9年のまちづくり構想策定を目指に、取り組んでまいります。

■まちづくり構想策定イメージ



■連携協定における対象地域



裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



■第1回懇談会 開催日 令和7年10月14日(火)

●懇談会は、地区の課題や目指すべき将来像について、意見交換することを目的としています。

第1回懇談会の開催状況



第1回懇談会では、駅周辺の魅力や課題について、様々なご意見をいただきました。

主なご意見

- 駅前のバスロータリーは、開けた空間で空を見上げられるので素晴らしい。
- 駅周辺に緑やオープンスペースが少なく、バスの乗降場所も狭い。
- 環状4号線は朝と土曜日が特に渋滞している。
- 駅前の商業施設が閉店し閑散としている。
- 駅前には、駅を利用する若者や地域ニーズも考えた機能が必要。
- 駅東側の道路に路上駐車が多く、横断するときに注意が必要。
- 駅東側の団地との高低差がとても大きく、移動するのが大変。

※参考【懇談会の構成】

構成員(地域団体)	魅力ある街青葉台(青葉台連合自治会、商店会等)から計8名を選出
構成員(学識経験者)	野原卓 教授(横浜国立大学)、 外山友里絵 特任助教(東京大学、名古屋大学)
事務局	横浜市都市整備局、東急、UR都市機構
オブザーバー	横浜市青葉区 他

お問合せ先

横浜市都市整備局市街地整備推進課市街地整備推進担当課長 甲斐 泰夫 Tel045-671-2668
東急株式会社 社長室 広報グループ 報道担当 Tel03-3477-6086
独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部
総務部 総務課(広報担当) Tel03-5323-2555



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

